

非常勤職員の育児休業の取得要件緩和など

会計年度任用職員などの育児休業取得基準を改正

焼津市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定

Q 今回の改正の対象はどの職員になるのか。

A 会計年度任用職員のほか、任期付短時間勤務職員、育児短時間勤務に伴う短時間勤務職員である。

Q 会計年度任用職員に対し、更新についてはいつ明らかにするか。

A 例年、年明けの2月頃から更新の話をする。

焼津市土地取得事業特別会計歳入歳出決算認定

Q 不動産売却収入の内容は。

A 売却は大住の道路残地の公売物件、買戻しは防災部所管の避難施設こすぎ山である。

Q 道路残地価格の算出方法は。

A 不動産鑑定を行い、取り引き事例などを調査し算出している。

Q 土地貸付収入の件数と内容は。

A 貸付件数は全部で13件である。主にはアトレ焼津管理組合駐車

場であり、そのほかは個人の駐車場用地などの短期的な貸し付けである。

焼津市病院事業会計決算認定

Q 材料費の注射薬品が前年に比べ2億7900万円ほど増えているがこの理由は。

A 高額薬剤が増えている。特に抗がん剤の使用が外来で増えたためであるが、一方で外来収益が増額となって反映されている。

Q 試験薬品も増えているが、この理由は。

A 増額となっている約3600万円は、ほとんどが新型コロナウイルス感染症の抗原定量検査の費用であり、令和2年度の途中から実施している。1件約3千円で毎日100件前後検査をしている。

Q 過年度未収金の状況はどうか。

A 診察料の未収金であり、令和2年度は約4300万円、令和3年度は約3900万円、年々減ってきている。

Q 収支状況が黒字に転換したとの

ことであるが、新型コロナウイルス感染症対策の補助金が大きな要因と考える。主な補助金は何か。

A 空床補償、クラスター支援の補助金、地方創生臨時交付金、病床回転率支援、施設整備の補助などである。

Q 必要な投資の結果、減価償却費が前年に比べ増額となったとあるが、必要な投資とは。

A 手術支援ロボット（ダビンチ）と生化学分注検査機で約4億円の投資である。



住民主体の地域交流の場「居場所」

東益津、港、和田の3地区に新たに立ち上げ

焼津市国民健康保険事業 特別会計決算認定

Q 国民健康保険税のコンビニ納付における評価は。

A コンビニ納付は口座振替に次いで2番目に多い納付方法であり、コンビニでは24時間納付が可能であることから、大変有効な納税手段である。

Q 督促状発送先世帯の所得状況は把握しているか。

A 現在把握はしていないが、督促状を発送している世帯の8割ほどが所得200万円以下世帯ではないかと考える。今後、所得状況について集計できるように検討したい。

Q 令和3年度における国民健康保険税分の静岡地方税滞納整理機構への移管件数、徴収金額、移管基準は。

A 国民健康保険税分の移管件数は34件で徴収金額は約2800万円であった。移管基準は、滞納繰越分の滞納額が概ね50万円以上で、完納の見込みがない方を対象としている。

焼津市介護保険事業特別 会計決算認定

Q 高齢者保健福祉用具給付等事業費における補聴器購入助成の申請者数、助成額、助成対象者が購入した補聴器の価格帯は。

A 本申請者数は44名、助成限度額は3万円、助成対象者が購入した補聴器の価格帯は、片耳10万円から20万円のものが多く、最高額は両耳分で102万円であった。



Q 令和3年度に新たに立ち上げた高齢者のための居場所の地区は。

A 令和3年度に新たに立ち上げた居場所は東益津、港、和田の3地区である。

Q 権利擁護事業費における虐待の早期発見と防止策は。

A 虐待は通報を受けて地域包括支援センターで初動態勢を取り、市と連携して動き、緊急性があれば市が一時保護を行う。

焼津市後期高齢者医療事業 特別会計決算認定

Q 後期高齢者医療保険料の徴収はどのような方法で行っているのか。

A 年金天引きによる特別徴収と口座振替や銀行等への直接納付による普通徴収がある。後期高齢者医療保険料と介護保険料を足した額が、年金額の2分の1を超えるると生活が成り立たなくなる可能性があるため、そういった方は普通徴収となる。



焼津駅北口駐車場の利用が好調

令和3年7月より利用料金に上限制度を導入

焼津市し尿処理事業特別会計歳入歳出決算認定

Q 汲み取り手数料の歳入が増えた理由は。

A 令和2年度はバキューム車17台、12班体制で汲み取りを行っていたが、令和3年度は19台、会計年度任用職員を増やした14班体制で作業を行っており、汲み取り量が増えたため。

焼津市水道事業会計決算認定及び剰余金処分案

Q 老朽化した管路の更新計画の進捗状況は。

A 基幹管路の更新整備工事は、令和3年度の計画値36・4%に対し、実績値39・7%であった。

焼津市公共下水道事業会計決算認定

Q 純損失が続く場合、公共下水道使用料の値上げは考えているか。
A 焼津市公共下水道経営戦略では、使用料の適正価格の検討を行うこととしており、総務省が示す

単価まで上げたいと考えているが、具体内容については、審議中である。

焼津市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定

Q 歳入において、駐車場使用料が見込み額より多かつた理由は。

A 令和3年7月から、焼津駅北口駐車場の利用料金に上限制度を導入し、利用件数が増加したため。



焼津駅北口駐車場

焼津市港湾事業特別会計歳入歳出決算認定

Q 大井川港活性化推進事業費の予算執行が無かつた理由は。

A 企業訪問をする旅費を計上していたが、コロナ禍で見送りとなったため。事業としては、市内の経済団体や会議所、商工会、近隣市町や既存企業への大井川港のPRやポートセールスを実施している。

焼津市温泉事業特別会計歳入歳出決算認定

Q 焼津港1号井の1日あたりの温泉湧出量と、配湯先8事業所での使用量は。

A 1日あたり約700tの湧出量に対し、平均で約222tが使用されている。

令和4年度焼津市し尿処理事業特別会計補正予算(第1号)案

Q バキューム車2台を債務負担行為で令和5年度に購入する理由は。

A 令和4年度と5年度で1台ずつ購入する予定であったが、世界的に部品が手に入り辛い状況となっており、納入まで1年半程度を要するためである。

台風第15号の被害箇所を早期復旧へ！

栄田川の護岸復旧、堆積土砂の浚渫など

令和4年度 補正予算

土木施設災害復旧事業費

Q 栄田川の護岸が崩落したが、工事の完了予定はいつか。

A 既に壊れた部分の撤去は完了している。11月下旬を目処に災害査定を受け、年度内の工事完成を目指す。

Q 崩落した要因は何か。

A 護岸の裏側が田んぼであり、田んぼに溜まった水がブロックの裏側にまわり、ブロックが押しやれたためと考えている。

河川維持費

Q 河川維持費の内訳は。

A 土砂の堆積に対する浚渫が21件、流木の撤去が2件である。

Q 2級河川の情報提供があった場合、市から県に依頼するのか。

A 2級河川の管理は県であるため、市から場所と状況を説明し、依頼する。

令和3年度 決算（総務文教分科会 所管分）

Wi-Fi整備事業費

Q 公民館のWi-Fi設置箇所はどのように検討したのか。

A 業者と立ち会いながら電波が届く範囲の調査をかけ、全館カバーできるようにするところのポイントを選んで設置した。

Q 公民館を災害時に避難場所として使用する場合に利用できるのか。

A 災害時の非常用電源等の確保をしているところもあり、電源の中でルーター等が作動すれば利用できる。

自主防災組織育成費

Q 出前講座の実施内容は。

A 出前講座は32回実施し、1390人が参加した。小中学校では防災に関する内容が多いが、さわやかクラブや公民館活動では、津波や避難所の運営等必要な内容を話している。

部活動指導員の配置事務

Q 指導員を配置したことによる成果は。

A 東益津中学校の女子バレー部及び和田中学校の男子バスケット部に部活動指導員を配置した。子どもたちや保護者からは、専門的な指導を受けられると聞いていた。また、外部指導者とは異なり、教員がいなくても指導や引率ができると効果について多くの声が届いている。



令和3年度 決算（市民福祉分科会 所管分）

環境調査事業費

Q 環境調査は大気、水質、騒音、悪臭の4項目にわたって調査しているが、公害対策において4項目以外に実施していることはあるか。

A 環境調査を含めた立ち入り検査、苦情処理を実施している。

Q 自動車の騒音防止について調査しているが、調査した場所が県道や国道である。市道の調査は対象になるのか。

A 交通量の多いところ等を監視の対象とし、経年変化等を見ている。

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業費

Q 令和元年度～3年度までの推移は。

A 平成30年の支給決定が17世帯、令和元年度が18世帯、2年が131世帯、3年度が91世帯である。

Q 支援を受けられる期間の設定は。

A 最長で9か月である。



子育てコンシェルジュ配置

Q 配置状況は。

A 子育てサポートルームに3人、親子ふれあい広場に1人、トマトピアに1人配置している。

Q コンシェルジュ配置の評価は。

A 保育園へ入所したい人に保育園の情報を提供できるなど、一元的に実施できることが相談者から喜ばれている。

令和3年度 決算（建設経済分科会 所管分）

空き家利活用対策事業費

Q 奨励金を交付した世帯の内訳は。

A 転入世帯が9件、市内の転居が18件である。転入9件の内訳は、静岡市や藤枝市等近隣市町のほか、県外からの転入が1件である。

鳥獣保護対策費

Q 鳥獣捕獲者や協力者が減少していると聞くが、現状は。

A 2つの猟友会の方に協力してもらい、駆除を行っている。また、地元の方に協力員という形で、イノシシの追い払いや見回りをお願いしている。

Q 令和3年度の捕獲鳥獣数から考えた今後の傾向と対策は。

A 捕獲実績は、イノシシ29頭、アナグマ3頭、ハクビシン4頭である。数年で捕獲頭数が大幅に減少しているが、推移は注視していきたい。

自主運行バス運営事業費

Q 大井川地区の公共交通機関の利用状況は。

A 焼津大島線を延伸したこと、デマンドタクシーを利用する方が増えたことで利用者はかなり増加している。

Q デマンドタクシーの周知の状況は。

A デマンドタクシーの利用者にインタビューをした記事を瓦版で出したり、案内を病院等に置いたり登録者数を増やすことに力を入れている。



※予算決算審査特別委員会…全議員で構成し、一般会計予算及び決算に関する議案を審査します。令和4年度から当初予算と決算は分科会（各常任委員会単位）、補正予算は全議員で審査しています。